

◎ 正の数、負の数についてまとめよう（教科書P.20-22）

まとめ

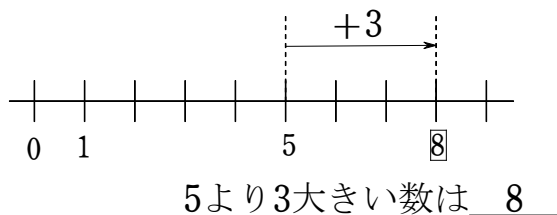
正の数は、0より大きく、絶対値が大きい
(0から離れる)ほど大きくなる

負の数は、0より小さく、絶対値が大きい
(0から離れる)ほど小さくなる

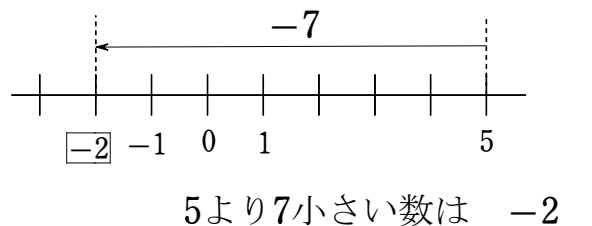
< 例題 >

次の数を求めましょう。

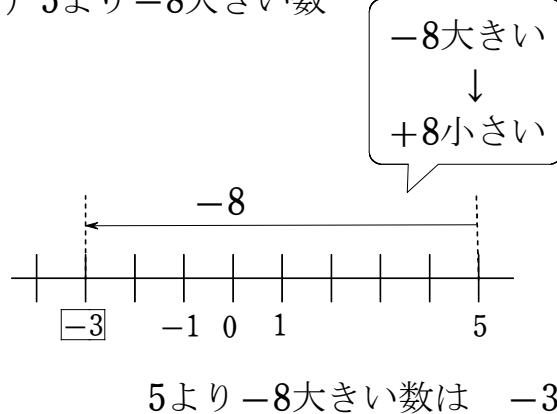
(1) 5より3大きい数



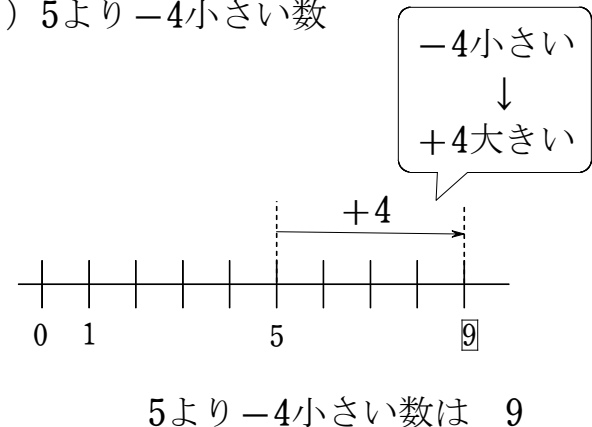
(2) 5より7小さい数



(3) 5より-8大きい数



(4) 5より-4小さい数



問1：次の□に不等号を書き入れて、2数の
大小を比較しよう。

(1) $4 \square 5$ (2) $-3 \square -7$

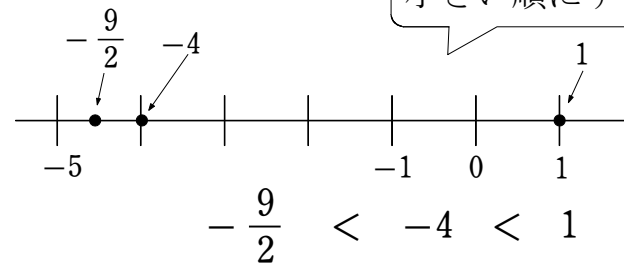
(3) $-1.6 \square -0.6$ (4) $-\frac{3}{8} \square -\frac{5}{8}$

< チャレンジ >

次の3つの数の大小を不等号を使って表そう。

(ヒント：数直線を使って考えよう。)

(1) -4 $-\frac{9}{2}$ 1



3つの数の大小を
表すときには、
小さい順にする

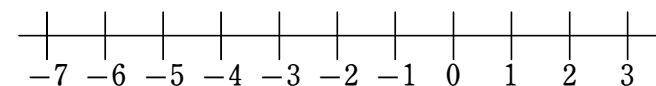
(2) $\frac{1}{3}$ 0.3 $\frac{4}{9}$

$0.3 = \frac{27}{90}$ $\frac{1}{3} = \frac{30}{90}$ $\frac{4}{9} = \frac{40}{90}$

$0.3 < \frac{1}{3} < \frac{4}{9}$

問2：次の数を求めよう。

(ヒント：数直線を使って考えよう。)



(1) -4より5大きい数は 1

(2) -4より2小さい数は -6

(3) -2より-3大きい数は -5

(4) -2より-3小さい数は 1